

◆『もりのあそびば～神社の森であそぼう!』を開催します

鎮守の森って知っていますか？神社には森があります。昔は公園のように近所の子供から大人まで多くの人が集まる場所でした。そんな鎮守の森に「もりのあそびば」ができます。1日限りのあそび場、一緒に楽しみましょう

- ・日時／2019年11月30日(土)10:00～15:00 ※雨天12月8日(土)に順延
- ・会場／甲斐国一宮浅間神社(笛吹市一宮町一ノ宮1684)
- ・参加費／無料 ★出入り自由です。好きな時間に遊びに来てください
- ・主催：杜のあそびば実行委員会



◆『ウッドガストーブを作ろう!～小さなエネルギーを楽しくおいしく』参加者募集

ウッドガストーブは空き缶で作れるストーブで、僅かな薪で効率よく火力が得られ、ご飯を炊いたり調理を楽しめます。キャンプ、防災など様々なシーンで活躍、小さな自然エネルギーを生活に取り入れてみませんか？

- ・日時／第1回：2019年12月14日(土)・第2回：2020年1月18日(土) いずれも10:00～13:00
- ・会場／第1回：甲斐国一宮浅間神社・第2回：FOREST inn
- ・参加費／500円 定員／8名 ●講師：深澤修(エコふじかわ会長)
- ◎お申込み／自然体感工房つむぐ メール：tsumugukoubou@gmail.com 電話：090-7734-3779

◆『地球温暖化を止めて、世界中の70億人全員を救う』講演会 参加者募集

SDGsネットワークやまなし設立の講演会を開催。講師は北杜市立甲陵中高卒の村木風海くん。科学は恵みと共に地球環境を大きく破壊したが、彼は科学の力で地球を復元しようとしている。温暖化を止めるため高校生の時、二酸化炭素回収マシンを開発。彼はただの天才ではなく地球を愛する情熱家だ。私たちにもできることがあるはずだ

- ・日時／2019年12月15日(日)14:00～ 会場／山梨県立文学館 参加費／無料
- ・講師／村木風海氏(炭素回収技術研究機構(CRRA) 機構長・東京大学教養学部前期課程 理科I類1年生)
- ◎お申込み／SDGsネットワークやまなし メール：applecljuice@gmail.com 電話：0553-33-9928

◆『みんなで音楽を聴きながら、環境問題について考えよう』音楽会 参加者募集

私たちは「人と環境すっきりしようわ」です「できるひとが、できるときに、できることを」を合言葉に環境保全活動を行っています。今回は音楽を通して環境を考える会を催します。心に響く演奏を聴きながら一緒に考えましょう

- ・日時／2019年12月7日(土)開場13:30～、開演14:00～
- ・場所／昭和町地域交流センター 入場無料
- ・ゲスト／甲斐市敷島吹奏楽団、押原中学校吹奏楽
- ◎お問合せ／すっきりしようわ事務局 昭和町役場 伊藤 電話：055-275-8784



◆ミニ地球温暖化防止教室 参加者募集

「地球温暖化が叫ばれて久しくなりますが、私達一人一人の取り組みとしては、何をすればいいのか今一つわかりにくいものです。カフェのくつろいだ雰囲気の中、温暖化防止における大切な考え方や、日常生活での身近な取り組みについて皆で一緒に考えてみませんか？暮らしの中のCO2削減に気づき、実践していく知恵を学びます。

- ・日時／12月7日(土)10:00～12:00
- ・場所／カフェ ロッソ (甲府市貢川2-1-13 山梨県立美術館前) TEL:055-268-363
- ・参加費／500円(コーヒー付き) 定員／15名
- ◎お申込み・お問合せ 株)eco テック 石川百合子 090-7712-5758



◆歌って遊んでつながって～原っぱコンサート イベントレポート

10月5日(土)山の都アリーナを会場に、新しく始まった親子イベントに参加しました。この企画は山梨県でれたそうです。森のようちえんとは自然体験を軸にした幼児教育や子育ての場で、森や里山など自然を舞台に開かれています。今回は「森のようちえん きらきら星」「森のようちえん につっここ」「Fujiこどもの家 パンビーノの森」「森の学校 ぽんぽこ」の4つが中心となっていました。他にも、小学生以上を対象にした教育団体、ものづくり、アート、言語、表現、環境などをテーマに教育活動をしている方が出展。山梨県地球温暖化防止活動推進センターもブースを出しました。また地元食材にこだわった料理のお店も多数出展。



メインイベントの「大友剛さんのマジックと音楽と絵本のコンサート」では、子どもたちかぶりつきのマジックショーや、「ねこのピート」の巨大絵本の読み聞かせと、会場の皆で大合唱をした“超ポジティブな猫の歌”など。秋の光に包まれた野外コンサート会場は、まさに歌って遊んでつながって、あたたかな雰囲気にも包まれていました。教育ブースでも、あちこちで語り合いの場が生まれ、子供たちに対する愛情や願い、これから大切にしていきたい思いやそのための情報交換がされていました。主催の宇田川さんにコメントを伺うと「初回のテーマは“オルタナティブな教育”。山梨には素晴らしい教育が多数あるのに、横の連携が弱い。個々の努力だけでは続かない活動もあるので、この場で有用な情報交換をしてもらい、良い取り組みが継続するようつながりを創っていききたい」と話されていました。来年以降も楽しいイベントですね！

◆やまなしグローバルフェスタ2019 ～SDGs シンポジウム リポート

9月23日(祝)山梨県立図書館にて、足元からのSDGsを考えるシンポジウムが開催されました。はじめに山梨県立大学の箕浦先生から、SDGsの基調報告があり、その後、実践者3名から活動報告がされました。中小企業基盤整備機構・石田氏からは、「社会の70%の人が働く中小企業がSDGsに取り組む意義」と機構の支援体制、また地産地消につながる北杜市・北杜高校との協働事例等が紹介されました。続いて、元・小学校校長である丸茂氏からは、「学校全体でSDGsに取り組む」様子が発表され、大学生と小学生と一緒に「太陽光パネルと自然保護」をテーマに円卓上の段ボール“えんたくん”の手法でディスカッションした事例など、様々な分野とつながる気候変動の学びの協働事例が発表されました。最後に、曹洞宗・山梨県宗務所・人権主事の松山氏からは、「社会の中にあるお寺として～SDGsのもつ可能性～」と題し「ウェルビーイング(良好な状態)」をキーワードに、人がつながる場としてのお寺の役割が紹介され、NPO・行政・市議・学生らの参加あったとのこと。シンポジウムのまとめとして、今年2月の電通調査において、日本全国のSDGs認知度は16%の中、山梨県は20%以上の認知度というデータもあるそうです。これからも山梨県内にSDGsを浸透させていくと共に、企業で、学校で、地域で、更なる活発な活動を広げ、気候変動へ対応し、より持続可能な社会づくりに貢献することを呼びかけて終了となりました。

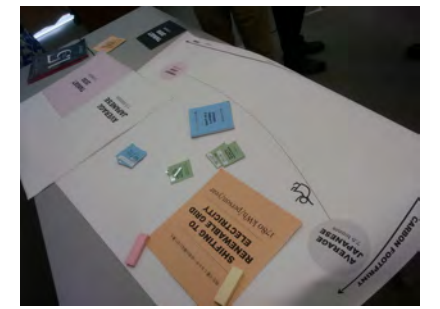


◆関東ブロック推進員等合同研修会 リポート

9月4日(水)～5日(木)群馬県みなかみ町で第5回関東ブロック推進員等合同研修会が開催された。関東各県の推進員やセンター職員ら54名が参加(山梨県からは2名)。環境省が提唱する「地域循環共生圏」の概念をベースに「カーボン・フットプリント」「ユネスコエコパーク」について学びが深められました。地球環境戦略研究機関の小出氏からは、行動科学・行動経済学・行動理論を元にフィンランド・川崎市での実践事例を紹介頂き、みなかみ町役場エコパーク推進課の高田氏からは、

右上に続く▶

ユネスコエコパークの取組から、自然と人の調和と共生を目指す在り方が問いかけられました。各県の事例発表では、山梨県のエコ富士川の深澤修氏のウッドガスストーブの実践に注目が集まりました。山梨県は地域の自然を活かした魅力的な教育・暮らし・仕事がたくさんあること、他の地域の方と共に学び、交流することで足元の宝も見えてきました。視野が広がり、お互いに刺激と元気をもらえる研修でした。



◆山梨県地球温暖化防止活動推進員委嘱式 及び 研修会 報告

8月28日(水) 山梨県防災新館にて、山梨県地球温暖化防止活動推進員委嘱式及び研修会が開催されました。今回で第9期の登録になる推進員登録になりますが、新規のメンバー21名をお迎えして、全体で126名のメンバーで活動がスタートとなりました。まずはじめに推進員の代表者が委嘱を受けた後、担当のエネルギー政策課の加藤一郎氏より、具体的な業務説明があり、県から推進員への支援内容も伺いました。その後、山梨県地球温暖化防止活動推進センターにバトンタッチし、センターの活動紹介と推進員説明を行いました。その後は、恒例となりました“推進員による推進員のための活動紹介タイム”です。この時間が最も皆さんが活発に交流される時間、5～6人のグループで熱心に普段の活動の様子や課題、達成感などについても語り合っていました。最後には、地域協議会として新たに環境省に認定された“人と環境すっきりしようわ”会長の杉浦氏より、団体設立の思いや経緯、今後の計画などを聞かせて頂きました。第9期推進員のみなさま、これから2年間の活動を、どうぞよろしくお願い致します。

